

令和 5 年度 新収蔵美術品について

- 1 令和 5 年度の新収蔵美術品は、以下の計 2 件です。
(リストの No. 1 は購入、No. 2 は受け入れ)

No.	作者名	作品名	制作年	材質技法・形状	寸法 (cm)
1	木島 櫻谷	紅葉鹿図	大正前期	絹本着彩・軸装	141.0×50.0
2	—	刀剣 (赤羽刀) 1 振	室町末期	脇差	刀長 49.2

購入作品は、木島櫻谷《紅葉鹿図》です。櫻谷は、青年期から鹿の図で評判となり生涯にわたり多数描いた画家で、秋の野で角をとぐ図様は晩年の名作《角とぐ鹿》(京都市美術館蔵)などが知られています。本作はその先行作例としても貴重なものです。落款などから、しっかりした写生からより自由度の高い表現へと移行する、大正前期の制作と推定されます。

これまで収蔵のなかった収集対象かつ重要作家であり、画家が得意とした動物画の作品購入は、願ってもない機会となりました。

赤羽刀は、戦後米軍によって接收された刀剣で、富山県に譲渡されたものです。当館ではこれまで研磨と公開を計画的に進めてきており、今回は研磨が終了した 1 振を美術品として受け入れ登録するものです。

- 2 新収蔵美術品は、今後、常設展示「近代水墨画の系譜」や企画展において、展示公開予定です。